

和太鼓部「唯風(いふう)」活動報告 2017年4月~2017年11月

(最近のものから遡っていく形で載せています)

11/11(土)川西中学校区地域教育協議会「エンジョイ・フェスタ」



川西中学は、今年の卒業生と、現役部員の母校です。お話を頂いてから、楽しみに準備しました。ところが、今年の秋は、週末ごとに雨、雨。この日もはやばやと予報では雨マーク。一時晴れに変わり、喜んだのもつかの間、またまた雨マーク。実施自体は、天気に関わりなくグラウンドか体育館でされるのですが、問題は太鼓を外に用意して降られた場合。運営委員さんも大変ご心配下さり、

「そうなりそうな場合は、演奏は結構ですから」とのありがたいお言葉。しかし、それでは、搬送車も使わせて頂くのにもあまりにも申し訳ない。祈るような気持ちでおりましたら、なんと、朝まだ暗いうちにほぼ雨は降り切って、本番の頃は大変風が強かったのですが、ぬかるまず、砂は飛ばない絶妙の湿り具合。後は演奏が終わって積み込みのときにはばらっとした程度で、素晴らしいコンディションでした。これは、運営委員さんの熱意の賜物でしょう。

広いグラウンドには、協議会の方々のお店もさまざま出店され、なかなかのにぎわい。

私たちも、未熟ではありますが、一生懸命演奏させて頂きました。風に音が持って行かれ、合わせるのに苦心しましたが、喜んで頂けて何よりでした。また、出演させていただけましたら嬉しいです。

寒い中、運営のみなさまお疲れさまでした。色々とお気遣い、本当にありがとうございました。



11/5(日)玉川牧田地区コミュニティ協議会主催秋祭り



今年で33回目を数える歴史ある秋祭りに、今年も呼んで頂きました。搬送の方々も慣れたもので、積み込み、積み下ろしはいたってスムーズ。ただ、他校の搬送もあるので、本校の演奏をいつもお聞き頂けないのが心苦しかったのですが、今年は少し時間の余裕があり、何曲か聞いていただけただそうで、よかったです。

会場には、演奏・演舞だけでなく、地域の方々の

書や手作りの立体作品など、さまざまな展示もされており、お越しになる方々はてんでお弁当を敷地のあちこちでとっておられるなど、地域に根ざしたお祭りということがとても伝わります。私たちも、その一部になれていると思うと、嬉しい限りです。

運営の方々も、顧問の赴任当時からお変わりなく、いやますますお元気で若々しくいらっしやるのが何よりです。来年もよろしくお願い致します。

11/4 (土) 下田部団地第二自治会秋祭り

何ヶ月も前からの念入りな打ち合わせ・準備のもと、進められた秋祭り。事前にポスターの作成など、宣伝もばっちり。お世話役の会長さん、Yさんを初め、運営の方々の熱意たるや、並々ではありません。

、、しかし!! 東京では127年ぶりというこの秋の多雨は、ここ高槻も例外ではなく、天気予報は無情の雨の見込み。「雨ならば翌日」という、周到な計画ではあったのですが、あいにく本校は翌日も他の公演の予定を頂いておりました。

そこで、会長さんからの提案とは、、、。翌日の公演(昼)後、幸いにも近い距離なので、



そのまま移動して団地祭りに出演というプラン。はなれ技ではありますが、また、本校ではめったにないケースではありますが、ここは意気を感じて、「がんばります!」の返事しかないでしょう。気候が乱調なこともあり、部員の体調管理が課題ではあったものの、なんとかその日を迎えるにいたりました。

空は不穏な色をたたえています。「実は私は晴れ男で」とおっしゃる会長さんを拝み、万を持してセティング、完了。と思いきや、ねら

いすましたように、雨粒が。そして、団地内の空き地に、建物を震わすような、風の音。一も二もなく「撒収」!! 舞台そばの自治会館に、あれよあれよと言う間に、太鼓を濡らすことなく、避難させることができました。皆様、お手伝い本当にありがとうございました。

そこから十中吹奏楽部のみなさん、今村組の皆さんも待機。広場に屋台は居並び、地域の子どもさんや大人の方々も、じっと待機です。お日さま、出てください!! 空をゆっくりと走る雨雲に、心の中で叫びました。そのかいあって?か、雨の心配は去り、約二時間遅れの演奏で、何とか舞台をつとめることができ、よかったです。

寒い中、いろいろなところに気を配り、祭



りを運営されているみなさんのご苦勞に、少しでも報いることができ幸いでした。また、来年もよろしくお願ひ致します。



10/28 (土) 本校学校説明会

緊張の面持ちの中学生のみなさん、保護者のみなさんに、説明会冒頭で歓迎の演奏をしました。これからいよいよ入試準備も佳境と思います。みなさん、健康に気をつけて、無事初志がかないますように、お祈りします。



10/21 (土) 大冠・松原秋フェスタは、雨のため演奏できませんでした。

9/17 (日) ひばり園にての演奏は、台風による暴風警報のため、中止となりました。

9/8・9 (金) (土) 本校文化祭

8日は開会式、体育館にて、本校生徒全員の前で演奏します。張り出し舞台も設置され、部員にとっては、もっとも緊張する時間です。今年は屋台ばやしを、座奏・立奏ミックスの編成で演奏しました。文化祭の盛り上がり貢献できていたら、嬉しいです。

9日はうってかわって、オーバブリッジ下、吹き抜けるさわやかな風のもと、一般のお客さまやOB、現役生の前での披露です。体育館で行われている、三年生渾身のクラス



演劇や、ダンス部・バトン部との兼ね合いで、邪魔にならないプログラム順にしなければならぬため、毎年係の先生にお世話をかけています。

部員にとっては、この間まで一緒に演奏していたOBたちの目が一番こわい、ちょっぴり緊張の舞台ですが、声援もいただき、はれがましい気持ちで終えることができました。

8/26(土) 柱本団地夏祭り

夏の終わりは、この祭り。雨に泣く年もありますが、今年はその心配は一切なく、体調を整えていざ、現地へ。毎年、この祭りは大盛況で、本職の方の屋台もたくさん出ています。一・二年生も、積み込み・積み下ろしに大分慣れて来ました。

大きなお祭りですので、毎年楽しみにしてくださるお客様のために、この催しを維持していられる委員の方々のご苦勞はたかばかりかと思えます。私たちも、せいっぱい、勤めさせていただきました。来年もどうぞよろしくお願ひ致します。

8/19(土) 春日町ヒューマンライツフェスタ

今年初めて参加させて頂きました。夏の夕刻、演奏の終わる頃には日も暮れ、照明の中での演奏。イベントの趣旨は、「地様々な住民の誰もが楽しめて参加できるもの。まず参加して、出会って、広がっていきましょう!!」とのこと。手話による司会の通訳もあり、心配りの行き届いた、とてもすてきなイベントでした。近くにおりながら、寡聞にして存じ上げなかったのですが、来年もぜひと感じさせる「人のあたたかさ」がありました。

実は、本校は当日アクシデントがあり、部員の一人が学校でのリハーサルで熱中症になってしまったのです。しかし、何とか回復し、本調子ではありませんが、みなさんの声援のおかげで、無事本番をつとめることができました。大冠野球部の活躍で声をかけてくださるOBの方もおられ、思いがけず本稿の生徒会長がお茶をたくさん差し入れてくれたのも、とても助かりました。そんな、人のつながりの優しさを、いっぱい感じることでできた催しでした。実行委員会のみなさま、本当にお世話になりました。

8/16 和太鼓交流会

今日はいつもの祭りやイベントとは違い、高校和太鼓部が互いに学びあう機会です。会場は富田林市のすばるホールです。一月に行われる芸文祭りの会場も、例年は大東市のサーティーホールですが、今年度はこちら。下見をかねての交流会となりました。本校も、芸文祭とは違った演目で、参加しました。一年生にとっては、初めての本格的な舞台での演奏です。舞台の造りや雰囲気、他校のうごきなど、大変勉強になりました。会場のスタッフのみなさん、いつもこういった催しで太鼓をおしげもなく貸して下さり、転換のお手伝いまでして下さる芥川・柴島両校のみなさん、ありがとうございました！



7/29 (土) 富田団地夏祭り

今年最初の外部公演の皮切りは、例年のごとく富田団地公演!! 一年生も、ときどきしながらバチを握り、総力をあげて1時間の演奏に臨みます。阪急オアシスを控えた広場に、やぐらが組まれ、団地の方々の出店がにぎにぎしく、団地内の商店の方々も張り切って、皆さん本当にこの祭りを楽しみにしていっしょにすることが伝わって来ます。我々の前は、子ども太鼓。無心の響きが心地よく、我々も見習いたいと思いました。

そして、我々の出番。三年生は入試期間は休部するので、演奏可能な曲をフルにリストアップして、思い残しのないようにと、ほぼ全ての曲にエントリーした人も。ちょうど夕陽を背に受けての演奏なので、熱中症との闘いです。失礼ながら飲み水を近くに用意し、演奏の合間に給水させて頂いて、しのぐことができました。

我々が外で演奏する際には、楽器類の積み込み・積み下ろしの作業が必ずついてまわりますが、これも一年生は初めてなので、上級生が指導しながら学んで行きます。その間、運送の方にもお手伝い頂き、ありがたいやら申し訳ないやら。

色々個人的には失敗や反省もありましたが、なんとか大任を果たし、温かい拍手を頂戴することができました。今年は、その模様を、インタビューいただき、「UR都市機構 美団地KANSAI (URL <http://vidanchi.jp/kansai/>) 」さんに、記事として紹介頂きました。以下、本校の記事部分を、許可のもと載せていただきます。

「UR都市機構 美団地KANSAI」さまの記事より：

富田団地夏祭り（親子3代にわたり受け継がれる夏の風物詩）

http://vidanchi.jp/kansai/life/tonda_matsuri/

<http://vidanchi.jp/kansai/life/tonda_matsuri/>



続いて、大阪府立大冠高校和太鼓クラブ『唯風（いふう）』による勇猛果敢な和太鼓の音が団地の住棟に響き渡ると、周辺の住民のみなさんも駆けつけ会場全体が賑わい始めました。力強い音で太鼓を打ち鳴らす『風雷神』、小刻みに大小の音でリズムをつくる『天天尽』、



4人の演者による三味線が奏でる『海の声』など10曲が演奏され、さらにはアンコールまで。自主的に厳しい練習を乗り越えてきたからこそできるダイナミックで堂々とした演奏は、約一時間におよびました。飛び散る汗をものともしない集中力に、演奏後はたくさんの拍手とともに観客からは「ありがとう」の掛け声がこだましました。



3年生で部長を務める杉浦祥樹さんは、「本格的に練習を始め、1年生の上達を披露できる初めての舞台。演奏後の達成感がすごく気持ちいい。」と語ってくれました。次期部長で2年生の福嶋芽衣さんは、「みんなで相談し、もっとうまくなるために練習を重ねてきました。最高のパフォーマンスでみなさんに聴いていただき、拍手をいただくことでもっとがんばろうという気持ちになれます。来年も聴いていただけるように練習に励みます。」と嬉しい言葉を伝えてくれました。

顧問の寺尾先生は、「富田団地から通っている生徒もいますから、ここは地元です。高校生活の3年間で大きく成長する姿が、そのまま太鼓の音になるのですよ。音の出し方の変化とともに成長ぶりを楽しみにしています。」と教えてくれました。

以上、記事をお借り致しました。

6/1(木)本校体育祭

一年生の公演デビューとなる体育祭ですが、天候が思わしくない年が結構あり、担当の教員を悩ませます。

今年はその当たり年で、朝はグラウンドには水溜りが。しかし、我が校自慢の応援団も、すっかり仕上がった状態で、延期は厳しい。いくつかの種目をはしょるという苦渋の選択で、実施の運びとなりました。その際、大勢の部活の部員、生徒会役員たちが手に手にスポンジなどを持って、少しでも水をはけさせようという、美しい行為が。大冠生って、すてきだな！と思える瞬間でした。

応援団の演舞には、毎年お決まりで、応援団員による太鼓の演奏が入ります。そのメンバーに和太鼓部員がなることは必然的に多いのですが、なかには和太鼓部員のいない団もあります。でも、その人たちも初めてバチを握り、限られた時間の中で懸命に練習をして、演舞を盛り立てています。撤収の際には、団を問わず、後のプログラムに差し支えないよう、複数の団員が飛び出してくれ、また「大冠ってすてきだな」と思ったことでした。

和太鼓のお披露目自体は、グラウンドコンディションのため、急遽変更せざるを得ず、準備した練習の成果をお見せするという意味ではいささか心残りではありましたが、お客様の前で演奏するのが初めての一年生も一緒にアクシデントに対応するという意味では、せいっぱいやれたと思います。また、文化祭でがんばりますので、その時をお楽しみに!!

4/11(火)新入生歓迎会

卒業生を送って初めて、新二年・三年生による演奏です。一年生は学校自体にまだ慣れていないので、気づかないかも知れませんが、実はこの舞台は演奏する側にとっても、とてもときどきするのです。

でも、演奏する側が緊張しては、一年生に楽しんでもらえないので、どうやって緊張と向き合い、楽しんでもらえるようにするかが、それぞれの課題です。インタビューなどもあり、この間まで一年生だった人が二年生、二年生だった人が三年生として、わずかな時間ですが、演奏後には上級生の自覚が芽生えています。その顔を見るのが、顧問の楽しみのひとつでもあります。

一年生のみなさん、ここ、大冠で、最高の三年間を過ごしてください!!